

所属・職種	総合地球環境学研究所 研究部 地域環境知プロジェクト (モデリング) プロジェクト上級研究員 または プロジェクト研究員【契約職員】
募集人数	1名
勤務場所	総合地球環境学研究所 (所在地：京都市北区上賀茂本山457番地4)
職務内容	平成24年度から開始された基幹研究プロジェクト「地域環境知形成による新たなコモンズの創生と持続可能な管理」において、世界各地で展開される多様な事例研究とマルチスケール分析の成果について、理論・モデリンググループの中心メンバーとして、モデリングによる分析を担当する。未来設計イニシアティブの理念を踏まえて、数理モデリングを駆使してプロジェクトの成果の統合をはかるとともに、各地の社会実験に参加して理論的分析の成果をフィードバックし、理論と経験科学をつなぐ統合的なアプローチを実践する。具体的には、知識の生産と流通を基礎とした社会ネットワークの動態について、力学系や確率過程に対する統計・数理的手法を駆使して、モデリングと分析を行う。また、多面的な視点を取り入れて総合的な理論的研究を推進し、事例研究と社会実験の成果の総合的理解に貢献する。上級研究員の場合は、モデリングを通じてプロジェクト内の各グループの有機的連携を促し、領域融合的な研究に向けたリーダーシップを発揮することが求められる。
応募条件	①地球環境学におけるモデリングに幅広い関心を持ち、博士（関連する分野のものが望ましい）の学位を有する者で、自ら研究を遂行する能力を有すると認められるもの（上級研究員）、または修士以上の学位を有する者（関連する分野で博士の学位を有するものが望ましい）で自ら研究を遂行する能力を有すると認められるもの又はプロジェクトリーダー等の指示により研究を遂行する能力を有すると認められるもの（研究員） ②統計物理学、社会物理学、複雑系理論、ゲーム理論、数理生物学、社会心理学、理論社会学、社会ネットワーク論、社会工学などの分野で十分な研究実績を有すること ③研究室におけるモデリング研究を進めることに加えて、実際の社会の現場で参与観察や社会実験に参加することを通じて、理論と経験科学の統合的アプローチをめざす意欲を有すること ④多様な研究成果を分析統合する意欲と能力を有すること
雇用期間	平成25年12月1日以降、できるだけ早い時期から平成26年3月31日まで。 (26年4月以降に着任を希望する方はご相談ください) (雇用期間任期满了後、更新する場合あり。ただし最長は平成29年3月31日まで)
勤務形態	週5日（土・日曜、祝日、年末年始、を除く）始業8時30分、終業17時（12時15分から13時まで休憩）を基本とする裁量労働制
給与	日給 19,000円（プロジェクト上級研究員） または 日給15,000円（プロジェクト研究員）
諸手当	本研究所支給基準に基づき支給（通勤手当、住居手当）
社会保険	健康保険、厚生年金保険、雇用保険に加入
応募方法	提出書類 ①履歴書（写真貼付、様式は任意） ②研究業績リスト（共著による論文、刊行物等については、共著者等を全て記入してください。様式は任意） ③研究業績資料（主要な論文、刊行物等を5点程度提出してください） ④職務内容に関するこれまでの研究等の経験と実績 （上記の応募条件を満たすことも含めて記載して下さい。1500字程度、英文の場合はA4版用紙1枚以内、様式は任意） ⑤職務内容への抱負（1500字程度、英文の場合はA4版用紙1枚以内、様式は任意、採用された場合の勤務開始が可能な時期を明記すること） ⑥応募者について意見を述べられる方2名の氏名と連絡先（電話、Fax及びE-mailアドレス） ※上記の提出書類はA4版横書きとし、それぞれ別様式として各様に氏名を記入してください。 なお、提出いただいた書類は原則返却しませんが、③の研究業績資料について特に返却の希望がある場合には、②研究業績リスト末尾にその旨明記していただければ返却いたします。 ※応募書類は当該選考委員会の審査資料としてのみ使用するもので、他の使用は一切ございません。
応募締め切り	平成25年10月31日（木） 必着
選考方法	提出書類により審査します。書類審査の結果によって、面接を11月中旬に実施します。 なお、面接を実施した場合、旅費などは当方では準備いたしませんので、ご承知おきください。
応募書類の提出先 (問い合わせ先)	総合地球環境学研究所 地域環境知プロジェクト研究室 (No 10) (担当：佐藤 哲) TEL : 075-707-2400 E-mail : tetsu*chikyuu.ac.jp (*を@に変えて下さい) ※封筒に「プロジェクト研究員 (モデリング) 応募書類在中」と朱書きのこと
その他	地域環境知プロジェクトについて http://ilekcrp.org/index.html を必ず参照し、基本概念とアプローチを十分に理解したうえで応募すること 未来設計イニシアティブについては http://www.chikyuu.ac.jp/rihn/mezasumono/index.html を参照のこと。 また、本プロジェクトの前身である下記JSTプロジェクトについても参照のこと 地域主導型科学者コミュニティの創生： http://localsci.org/index.html 地域環境学ネットワーク： http://lsnes.org/index.html